

平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	野生生物専門家活用事業		担当部局庁	自然環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度～		担当課室	野生生物課		課長 中島 慶二		
会計区分	一般会計		政策・施策名	5 生物多様性の保全と自然との共生の推進 5-3 野生生物の保護管理				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(第46条)		関係する計画、通知等	保護増殖事業計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	学位・経験を有する専門家を雇用し、生息域や飼育下での保護増殖事業、テレメトリーや観測衛星による生息状況調査、野生生物の保護活動の技術的指導等に從事させることなどにより、地方環境事務所の体制強化が図られ、国内希少野生動植物の保護施策を効果的・効率的に展開する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	保護増殖事業、生息状況調査等を促進する必要性が特に高い地区に野生生物専門家を環境省が雇用し、生息状況調査等を実施。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	30	30	30	30	34	
	執行額	37	33	32				
	執行率(%)	123%	110%	107%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	本事業費は、専門家を雇用した生息状況調査等であり、定量的な成果目標を設定することは困難である。		成果実績	—	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	7か所の野生生物保護センターで、7人の専門家を雇用。		活動実績 (当初見込み)	人	7	6	7	—
					—	—	—	(7)
単位当たりコスト	4.571 (百万円/人)		算出根拠	「単位当たりコスト」=「事業に係る経費(32百万)」/「雇用人数(7人)」				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	環境保全調査費	30	34	平成25年度中に完成するツシマヤマネコ野生順化関連施設に配置する野生生物専門家1名が新たに必要となるため。				
計	30	34						

事業所管部局による点検						
	項目			評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	野生生物は、人間の生存する基盤を整え、有用な資源としても活用されるなど、生きるために欠くことのできない存在であり、特に我が国において絶滅の危機に瀕している種は、国がその保全に取り組む必要がある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			—		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	支出先の選定については、可能な限り一般競争により適切に実施している。経費の大部分は専門家雇用の人件費であり、通年で活用していることを考慮すれば、金額水準は妥当であり、絶滅回避という目的を達成するために必要な経費である。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			○		
	単位当たりコストの水準は妥当か。			○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			○		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○		
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			—	<p>事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。</p> <p>活動実績は見込みに見合ったものであるか。</p> <p>整備された施設や成果物は十分に活用されているか。</p>	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			○		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○		
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○	<p>専門家を直接雇用することにより、継続的に現地で保全を実施することが可能となり、職員の専門的な知識を補う効果もあることから、一時的な業務を行うより実効性は高い。</p> <p>専門家によって得られた情報は、生息状況の把握や保全の効果の検証など活用され、あるいは傷病個体の治療は直接な個体数の回復に繋がるなど、その成果は極めて大きい。</p>	
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	野生生物の保護増殖を実施するためには生態等に関する専門的な知識と、行政判断が必要となり、事業の実施に当たっては職員の専門的な知識を補う上で、必要な経費である。今後とも野生生物専門家を有効に活用し、効果的・効率的な保護増殖事業を展開する。					
	外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	引き続き効率的な執行に努めること。					
	所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	引き続き効率的な執行に努める。					
	備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	318	平成23年	201	平成24年	209

環境省  
32百万円

野生生物専門家活用事業  
【内容】  
保護増殖事業、生息状況調査等を促進する必要性が特に高い地区に野生生物専門家を配置し生息状況調査等を実施。

北海道地方環境事務所  
5.2百万円

東北地方環境事務所  
3.7百万円

関東地方環境事務所  
6.4百万円

<一般競争入札>

<一般競争入札>

<一般競争入札>

A (一財)自然環境研究センター  
5.2百万円

B (一財)自然環境研究センター  
3.7百万円

C (一財)自然環境研究センター  
6.4百万円

希少野生動植物の生息状況調査

希少野生動植物の生息状況調

希少野生動植物の生息状況調査

九州地方環境事務所  
3.9百万円

那覇自然環境事務所  
12.4百万円

<一般競争入札、随意契約>

<一般競争入札>

D (一財)自然環境研究センター  
(3機関)  
3.9百万円

E (一財)自然環境研究センター  
12.4百万円

対馬野生生物保護センターにおけるツシマヤマネコの保護等業務等

野生生物保護センター(奄美野生生物保護センター)業務支援等

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.(一財)自然環境研究センター			E.(一財)自然環境研究センター		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	派遣業務	5.2	雑役務費	派遣業務	12.4
計		5.2	計		12.4
B.(一財)自然環境研究センター					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	派遣業務	3.7			
計		3.7	計		
C.(一財)自然環境研究センター					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	派遣業務	6.4			
計		6.4	計		
D.(一財)自然環境研究センター					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	派遣業務	3.7			
計		3.7	計		

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(一財)自然環境研究センター	希少野生動植物の生息状況調査等	5.2	1	非公表

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(一財)自然環境研究センター	希少野生動植物の生息状況調査等	3.7	1	非公表

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(一財)自然環境研究センター	希少野生動植物の生息状況調査等	6.4	1	非公表

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(一財)自然環境研究センター	対馬野生生物保護センターにおけるツシマヤマネコの保護等業務	3.7	一般競争	非公表
2	NPO法人どうぶつたちの病院	ツシマヤマネコ診療	0.1	少額随契	-
3	長崎獣医薬品(株)	消耗品購入	0.07	少額随契	-

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(一財)自然環境研究センター	野生生物保護センター(奄美野生生物保護センター)業務支援	5.2	一般競争	非公表
2	(一財)自然環境研究センター	野生生物保護センター(やんばる野生生物保護センター)業務支援	4.8	一般競争	非公表
3	(一財)自然環境研究センター	野生生物保護センター(やんばる野生生物保護センター)運営管理補助	1.2	一般競争	非公表
4	(一財)自然環境研究センター	野生生物保護センター(西表野生生物保護センター)業務支援	1.2	一般競争	非公表